

# 入ゼミのご案内



経済学部  
別所俊一郎

# これまでの経歴

---

- 75年：広島県生まれ
- 93年：学部入学
  - うっかりオリエンテーリングをしてました。
- 97年：(株)日本総合研究所に入社
  - 調査部で研究員として政策分析
- 99年：大学院へ入学
- 03年：財務省財務総合政策研究所に着任
  - 任期付き研究官として調査分析など
  - 仕事の環境はただの公務員。最初の上司は…
- 06年：一橋大学国際・公共政策大学院に着任
  - 「政策大学院」で計量経済学を担当
- 11年10月：本学経済学部に着任

# 研究分野：財政論・公共経済学

## □ 実証分析

- 日本の財政制度・社会保障制度はどのように決まっているのか
- 日本の財政制度・社会保障制度はどのように働いているのか
- とくに家計・地方財政にかんすること
- 例：現在進行中の研究
  - 労働所得税は労働供給を「歪める」と言われるが、その歪みはどれくらいか？
  - 中央官庁から都道府県へのキャリア官僚の出向がもつ効果はなにか？
  - 乳幼児医療費助成の大きさは市町村ごとに異なるが、そのことは通院行動や健康状態に影響するのか？ なぜ助成の大きさは違うのか？

# 研究会であつかう内容

---

- 財政論・公共経済学の実証分析
  - ミクロ経済学的な考え方にもとづく
  - 統計的・計量経済学的な手法を用いる
    - シミュレーション分析も使ってよい
  - 具体的なテーマは個人／グループに任せる
    - 誘導することはあるかもしれない
- 必要な基礎知識
  - 2年次までにならうミクロ経済学・統計学・計量経済学
  - 折に触れて復習しましょう
- 入ゼミ以降に修得
  - 公共経済学の基礎理論
  - 計量経済学の基礎理論
  - 財政制度・社会保障制度

# 実際にやること

---

- 公共経済学の基礎理論の修得
  - 英語教科書を用いる予定
  - Gruber, Jonathan. *Public Finance and Public Policy*. 3<sup>rd</sup> ed.
- 計量経済学の基礎理論の修得
  - 演習の履修を推奨
  - 統計処理ソフト (Stata) の使い方のお勉強
- ゼミ論 / 卒論 (のようなもの) の執筆・発表
  - 早くても3年次の夏休み以降
- [検討中] インゼミ
  - 他大学のゼミとの合同ゼミ
- [検討中] 合宿
- いずれについても参加者との協議のうえ決めます

# 重視したいこと

---

## □ 想像

- 自分だったらどう行動するだろうか，何を考えるだろうか
- その結果として何が起きるだろうか
- 創造的な考えへ

## □ コミュニケーション

- 相手に自分の考えを着実に伝える
- 対面の会話だけではない．文章を書く，資料を用意することも
- その準備としての論理とデータ

## □ 研究会を創っていく意欲のある学生を歓迎

- 新しい研究会の1期生
- 学部ゼミとしては初めて

# 選考方法

---

## □ 募集人数

- A-B日程合わせて10名程度
- ちゃんと指導したいので、あまり多くしません

## □ 選考基準

- 面接
- 成績表：面接の話題作りのため
- 志望動機：A4で1枚程度. 3月2日までに添付ファイルで提出

## □ 連絡先・問合せ先

- [bessho@econ.keio.ac.jp](mailto:bessho@econ.keio.ac.jp)
- <http://web.keio.jp/~bessho/top.html>